

出張復命書

命により、次のとおり出張しましたので復命します。

令和3年11月22日

田川地区斎場組合 管理者 二場公人 殿
田川市長 二場公人 殿

田川地区斎場組合事務局
事務局長 池口芳幸
事務局次長 重久真一
田川市建設経済部建築住宅課
主任 長川良宣

1 目的

田川地区斎場の新施設建設に向けた先進地視察

2 視察日時

令和3年11月17日（水）から11月19日（金）

3 視察先

- (1) 愛媛県今治市火葬場 すい風苑
- (2) 広島県三原市斎場 みはらしの杜

4 視察内容

	すい風苑	みはらしの杜
区域内人口	154,407 人	90,625 人
建設年度	H16.2	R2
敷地面積	16,933.00 m ²	9,258.98 m ²
建築面積	3,037.98 m ²	2,169.65 m ²
建築構造	鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）	鉄筋コンクリート造
火葬炉数	7 基（うち 1 基胞衣炉）	6 基
駐車台数	普通車 58 台、マイクロバス 3 台	普通車 38 台、バス 5 台
R2 火葬件数	1,927 件	1,321 件
最大火葬数／日	14 件	11 件（実績 10 件）
施設概要	・ 火葬炉数 7 で内 1 が胞衣炉となっているが、さらに別に 1 基分の予備スペースをとっている。ただし、予備スペースに増設す	・ 火葬予約システムはあるが表示システムは入れていない。理由は数年で古くなること、漢字が表示できないものがあるため。

	<p>る予定はない。</p> <ul style="list-style-type: none"> 火葬予約システムと表示システムが連動している。 すい風苑以外に6つの島にそれぞれ火葬場がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 三原市民は火葬料が無料であるため、事務所受付に利用者が訪れることは少ない。 売店は置いていない。
建設費	約25億円（うち起債約16.5億円、分担金・負担金約9億円）	約21.5億円（うち起債約19.7億円（過疎・合併特例）、自主財源約1.8億円）
設計施工業務	<ul style="list-style-type: none"> 条件付公募型プロポーザルにより佐藤計画と委託契約 地元協議により施設が見えない高さまで土地を低くし、また、一見して火葬場に見えない外観とした。 	<ul style="list-style-type: none"> 公募型プロポーザルにより梓設計と施工管理まで委託契約 施工は市内業者に発注機会を与える観点から分離発注とし、一般競争入札で業者決定した。 電気工事のみJV 周囲から排気口が見えない配慮
全体事業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> H10.5 現況調査スタート H14.9 建築入札 H16.2 供用開始 	<ul style="list-style-type: none"> H25 頃 用地選定スタート H27～ 設計業務 H31.3 建築工事着手 R2.10 供用開始
許認可	<ul style="list-style-type: none"> 環境アセスメント実施 火葬場の許可の変更 	<ul style="list-style-type: none"> 環境アセスメントはやっていない。 用地は国有地の保安林で無番地、都市計画外のため建築基準法が求める手続きは不要であった。
利用者からの要望等	<ul style="list-style-type: none"> Wi-Fiの設置 洋式トイレへの改修 	<ul style="list-style-type: none"> 待合室に畳がない。
施設管理者から見た問題点	<ul style="list-style-type: none"> サービス（バック）ヤードが狭い ガラスシール劣化による雨漏り 炉の改修等の工事車両進入路が狭い 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者や障がい者の目線に配慮した案内表示の設置 建築に木材を多く使用したため、木材に防火剤を注入しなければならず、その防火剤が白い斑点のように染み出しており、玄関タイルやガラスにシミを作る。

5 所管

どちらの施設も近代的な外観を有し、一見火葬場とはわからない周囲に配慮されたものであった。

すい風苑は、敷地面積にも恵まれていることから建物自体が贅沢に設計されている印象であったが、維持管理や改修時の工事車両の進入経路に担当者が頭を悩ませていた。

みはらしの杜は、利用者の動線が非常にわかりやすく効率的に設計されているものと感じ、工事車両の進入路も確保されていたが、外壁等に非常に高価な材料が使用されていた。特に木材に注入した防火剤の白い斑点が気になる様子であった。

田川地区斎場の建て替えに際しては、みはらしの杜を参考により経済的でコンパクトにしたものが理想的であると感じた。

今後は、模型等を用いて現施設敷地にどれほどの規模のものが建築可能かを検討し、必要があれば、三原市が参考にした岡山市や広島県三次市の情報も収集し、合わせて許認可等の手続きを明らかにしていきたい。